

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

令和8年2月13日

令和7年度学校保健統計（学校保健統計調査の結果）について公表します。

文部科学省は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、学校保健統計調査を昭和23年度から毎年実施しています。

この度、令和7年度学校保健統計の結果を取りまとめましたので、公表します。

1. 調査内容

- (1) 調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校の満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒の一部（抽出調査）。
- 抽出率（発育状態）：全幼児、児童及び生徒の5.2%（647,623人）
(健康状態)：全幼児、児童及び生徒の25.4%（3,143,588人）
- (2) 調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。
- (3) 調査期日：令和7年4月1日から令和7年6月30日の間に実施。

2. 調査結果

- 裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校で3割を超えて、中学校で6割程度、高等学校で7割程度となっています。
- むし歯（う歯）の者の割合は、小学校及び高等学校で4割、中学校で3割、幼稚園で2割を下回り、いずれの学校種においても過去最小となっています。

主な結果は別添「調査結果のポイント」のとおり。

なお、詳細な集計表は「政府統計の総合窓口（e-Stat）」に掲載しています。

（<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00400002&tstat=000001011648>）

3. 今後の施策の対応方針

本調査結果について、都道府県を始め関係機関にお知らせするとともに、国及び地方における学校保健の推進に関する教育諸政策を検討・立案するための基礎資料として活用を図ります。

※ 本調査の調査対象は上記のとおりですが、今後の本調査における特別支援学校の取り扱いについては、現在、検討しているところです。

<担当>総合教育政策局参事官（調査企画担当）

参事官：野田浩絵

分析調査官：宇野貴雄

専門調査係長：篠原拓也

電話：03-5253-4111（代表）（内線3240、2262）

令和7年度学校保健統計 調査結果のポイント

【健康状態調査】

被患率の高い疾病・異常等は、以下のとおり。

- (1) 裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれて高くなっています。
小学校で3割を超えて、中学校で6割程度、高等学校で7割程度となっている。
- (2) むし歯（う歯）の者の割合は、小学校及び高等学校で4割、中学校で3割、幼稚園で2割を下回っており、いずれの学校種においても過去最小。
- (3) 鼻・副鼻腔疾患を持つ者の割合は、小学校及び中学校で1割程度となっている。

※なお、令和2年度から令和5年度の数値については、いずれの項目も調査時期の異なる数値を含んでいる影響があるため、他の年度の数値と比較はできない。

○主な疾病・異常等の推移

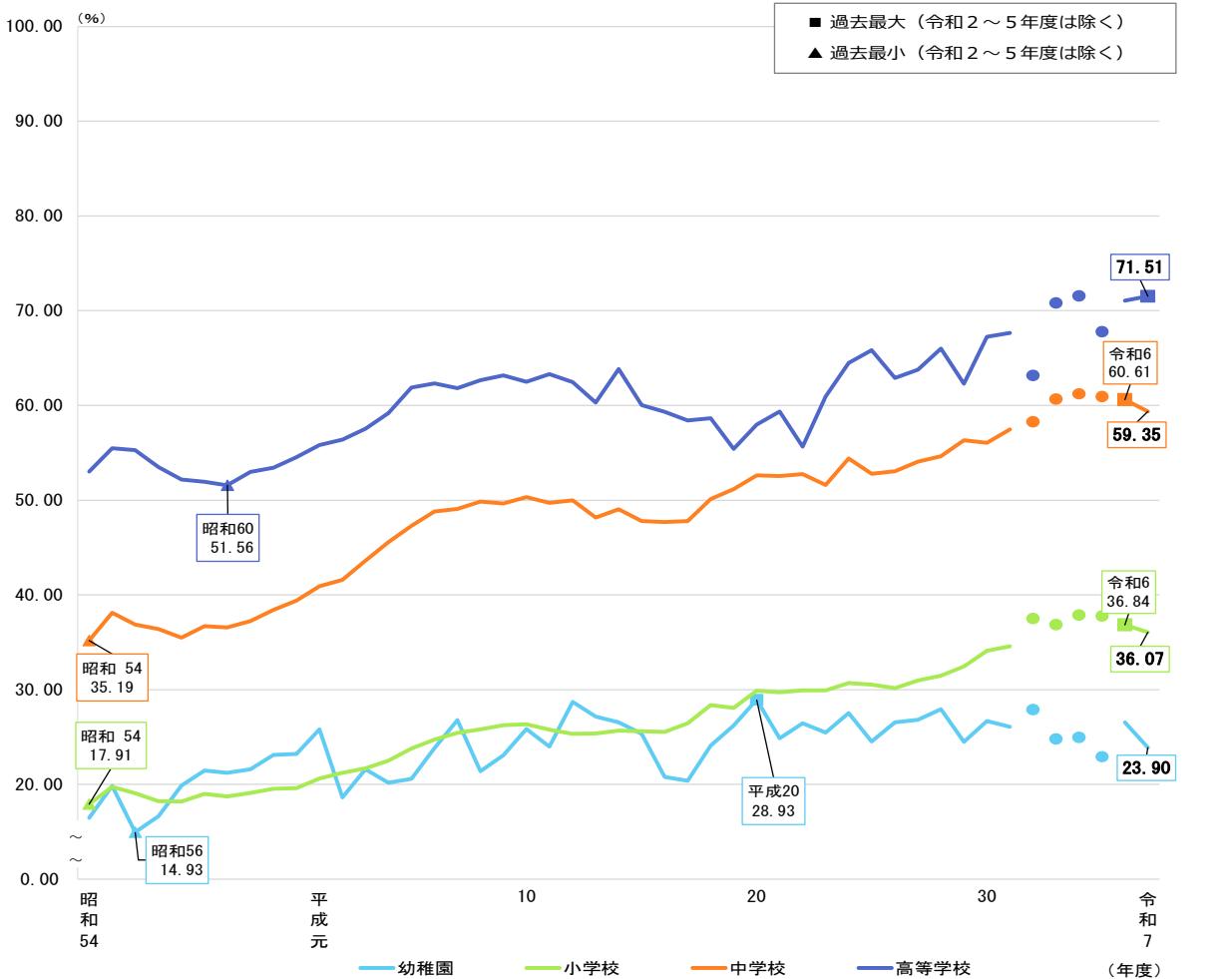
区分	裸眼視力1.0未満の者	眼の疾患・異常	耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	むし歯（う歯）	アトピー性皮膚炎	ぜん息	心電図異常（注）	蛋白検出の者	(%)
幼稚園	平成27年度	26.82	2.03	2.23	3.57	36.23	2.52	2.14	…	0.76
	令和元	26.06	1.92	2.57	3.21	31.16	2.31	1.83	…	1.02
	2	27.90	1.36	1.97	2.38	30.34	1.90	1.64	…	1.00
	3	24.81	1.48	2.00	2.96	26.49	1.75	1.48	…	0.66
	4	24.95	1.27	2.36	3.03	24.93	1.62	1.11	…	0.87
	5	22.92	1.63	2.19	2.99	22.55	1.48	1.15	…	1.12
	6	26.53	1.44	1.92	2.74	20.74	1.61	1.20	…	1.16
	7	23.90	1.75	2.41	2.61	19.44	1.62	1.30	…	0.59
小学校	平成27年度	30.97	5.55	5.47	11.91	50.76	3.52	3.95	2.35	0.80
	令和元	34.57	5.60	6.32	11.81	44.82	3.33	3.37	2.42	1.03
	2	37.52	4.78	6.14	11.02	40.21	3.18	3.31	2.52	0.93
	3	36.87	5.13	6.76	11.87	39.04	3.20	3.27	2.50	0.87
	4	37.88	5.28	6.60	11.44	37.02	3.14	2.85	2.55	0.98
	5	37.79	5.32	6.28	12.38	34.81	3.25	2.87	2.44	0.84
	6	36.84	5.54	6.28	12.10	32.89	3.24	2.87	2.59	0.96
	7	36.07	5.79	6.20	11.36	30.83	3.29	3.22	2.52	0.95
中学校	平成27年度	54.05	4.87	3.64	10.61	40.48	2.72	3.00	3.17	2.91
	令和元	57.47	5.38	4.71	12.10	34.00	2.87	2.60	3.27	3.35
	2	58.29	4.66	5.01	10.21	32.16	2.86	2.59	3.33	3.25
	3	60.66	4.84	4.89	10.06	30.38	2.95	2.31	3.07	2.80
	4	61.23	4.95	4.76	10.70	28.24	2.96	2.23	3.15	2.90
	5	60.93	5.08	4.87	10.48	27.95	2.99	2.00	3.21	2.80
	6	60.61	4.80	4.78	10.55	26.50	2.98	1.89	3.01	2.83
	7	59.35	5.24	4.32	10.87	25.23	3.00	2.14	3.40	2.69
高等学校	平成27年度	63.79	3.84	2.05	7.37	52.46	2.05	1.93	3.33	2.95
	令和元	67.64	3.69	2.87	9.92	43.68	2.44	1.79	3.27	3.40
	2	63.17	3.56	2.47	6.88	41.66	2.44	1.75	3.30	3.19
	3	70.81	3.35	2.51	8.81	39.77	2.58	1.70	3.16	2.80
	4	71.56	3.58	2.25	8.51	38.30	2.68	1.71	3.03	2.83
	5	67.80	3.57	2.63	7.60	36.38	2.39	1.50	3.08	2.52
	6	71.06	3.32	2.62	7.91	34.70	2.60	1.42	3.09	2.66
	7	71.51	3.19	2.28	7.28	32.77	2.52	1.53	3.31	2.56

注：「心電図異常」については、6歳、12歳及び15歳のみ調査を実施している。

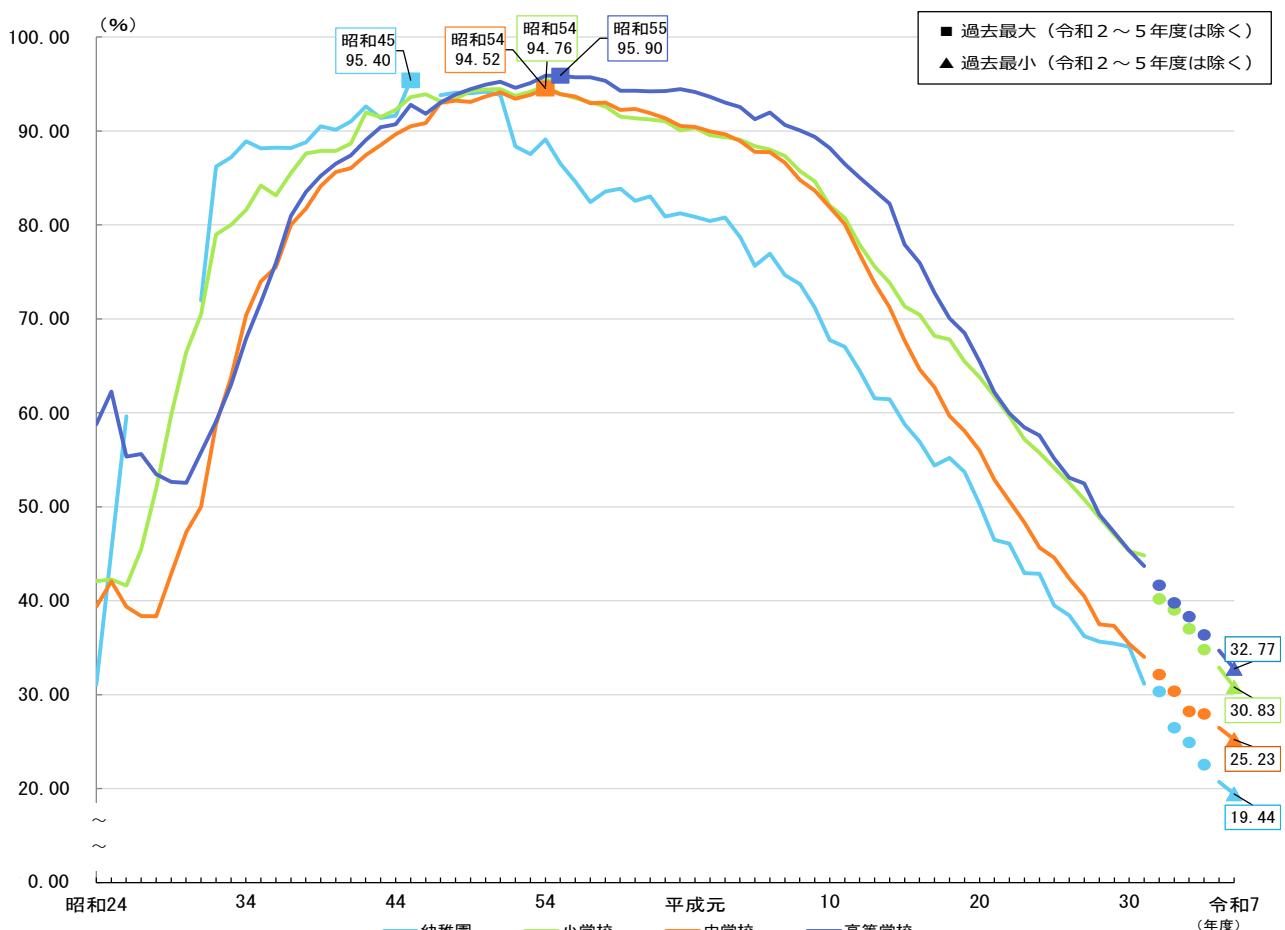
■：過去最大(令和2～5年度は除く)

■：過去最小(令和2～5年度は除く)

○「裸眼視力1.0未満の者」の割合



○むし歯（う歯）の者の割合



注：幼稚園については、昭和27～30年度及び昭和46年度は調査していない。

【発育状態調査】

- (1) 身長の平均値は、多くの年齢層で男女とも平成10年度前後にかけて上昇し、その後横ばい傾向。
- (2) 体重の平均値は、多くの年齢層で男女とも平成10年度前後にかけて上昇し、その後横ばい傾向。
- (3) 肥満傾向児の割合は、男女とも11歳前後が高く、特に男子は9歳以降おむね1割を超えており、瘦身傾向児の割合は、男女とも10歳頃まで上昇傾向にあり、以降は3%前後となっている。

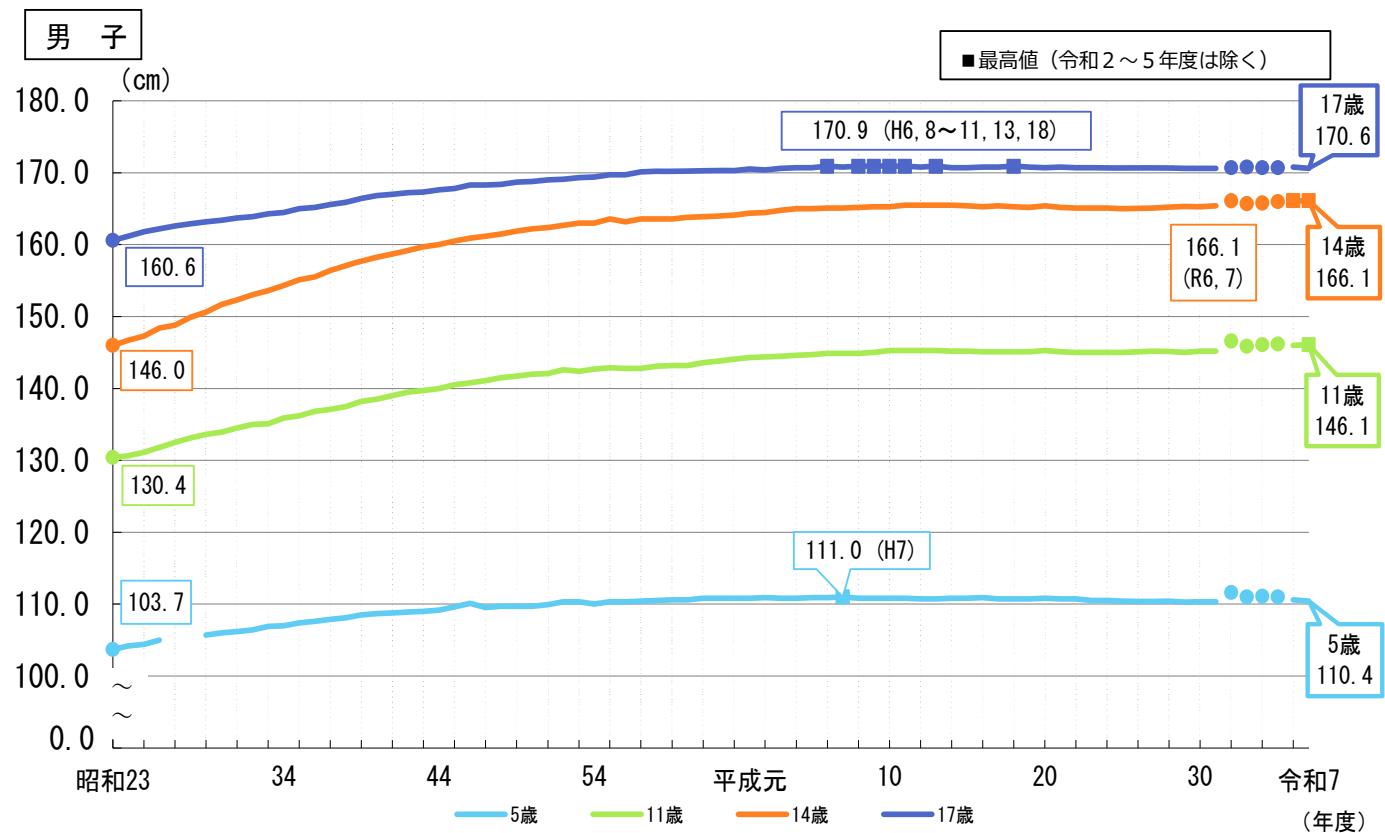
※なお、令和2年度から令和5年度の数値については、いずれの項目も調査時期の異なる数値を含んでいる影響があるため、他の年度の数値と比較はできない。

○令和7年度 身長・体重の平均値及び肥満傾向児及び瘦身傾向児の割合

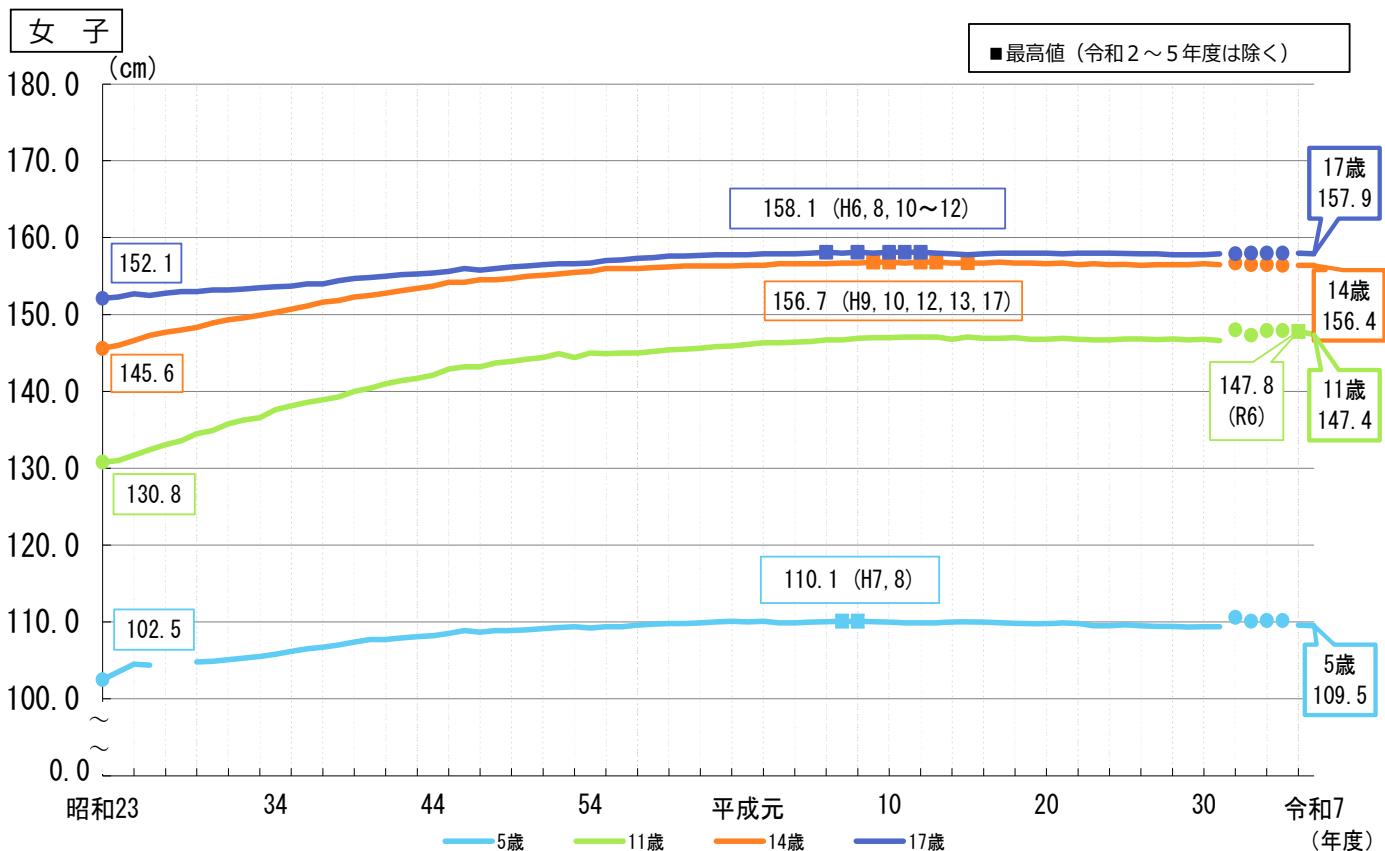
	区分	(cm)	(kg)	(%)	(%)
	身長	体重	肥満傾向児	瘦身傾向児	
男子	幼稚園 小学校 中学校 高 等 学 校	5歳	110.4	19.0	2.66
		6歳	116.6	21.4	4.10
		7	122.7	24.2	6.44
		8	128.3	27.4	8.68
		9	134.0	31.2	11.59
		10	139.5	35.1	13.12
		11	146.1	39.6	13.24
		12歳	153.8	45.2	12.68
		13	161.1	50.4	10.87
		14	166.1	55.0	10.39
女子	幼稚園 小学校 中学校 高 等 学 校	15歳	168.6	59.1	12.47
		16	169.9	60.3	9.79
		17	170.6	62.2	10.98
		5歳	109.5	18.7	3.06
		6歳	115.6	21.0	4.53
		7	121.6	23.6	6.19
		8	127.5	26.8	7.86
		9	133.8	30.4	8.93
		10	140.9	34.9	9.51
		11	147.4	39.8	10.16
女子	幼稚園 小学校 中学校 高 等 学 校	12歳	152.4	44.4	9.46
		13	155.0	47.5	8.66
		14	156.4	49.7	7.71
		15歳	157.0	51.0	7.79
		16	157.5	51.9	6.80
		17	157.9	52.5	8.34
					2.38

注：年齢は、4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

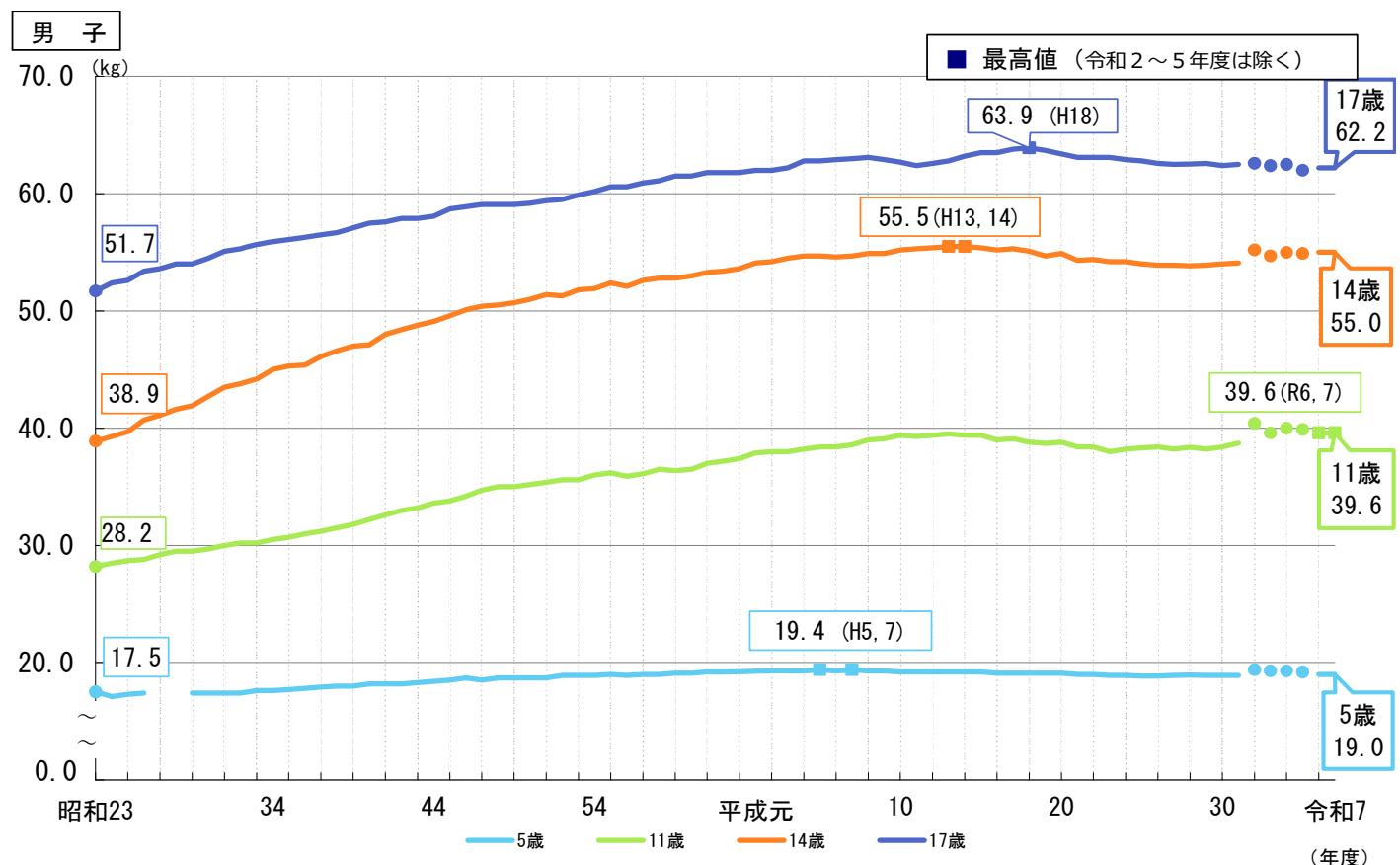
○身長の推移



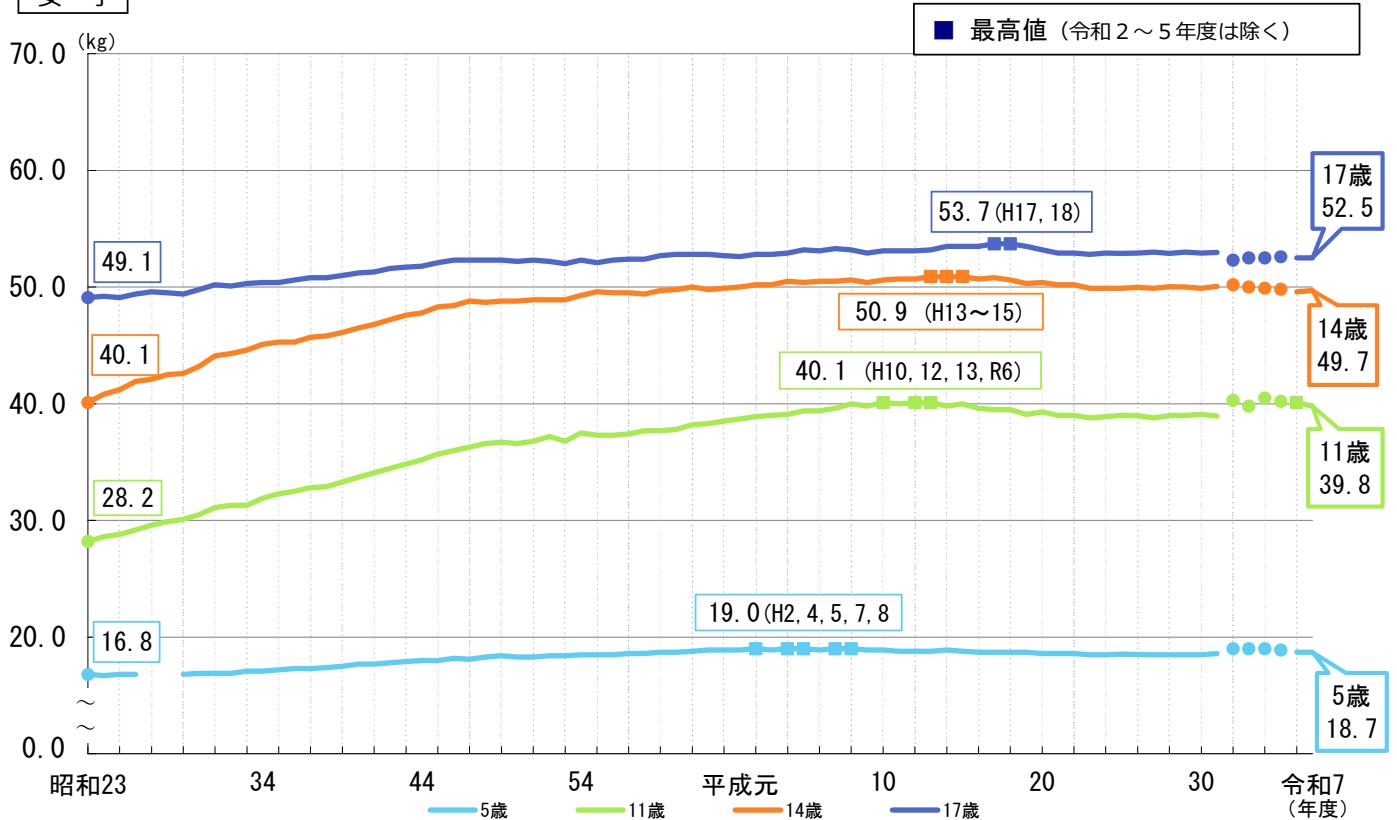
(注) 5歳については、昭和27年度及び昭和28年度は、調査していない。4ページ、5ページの各図において同じ。



○体重の推移



女子

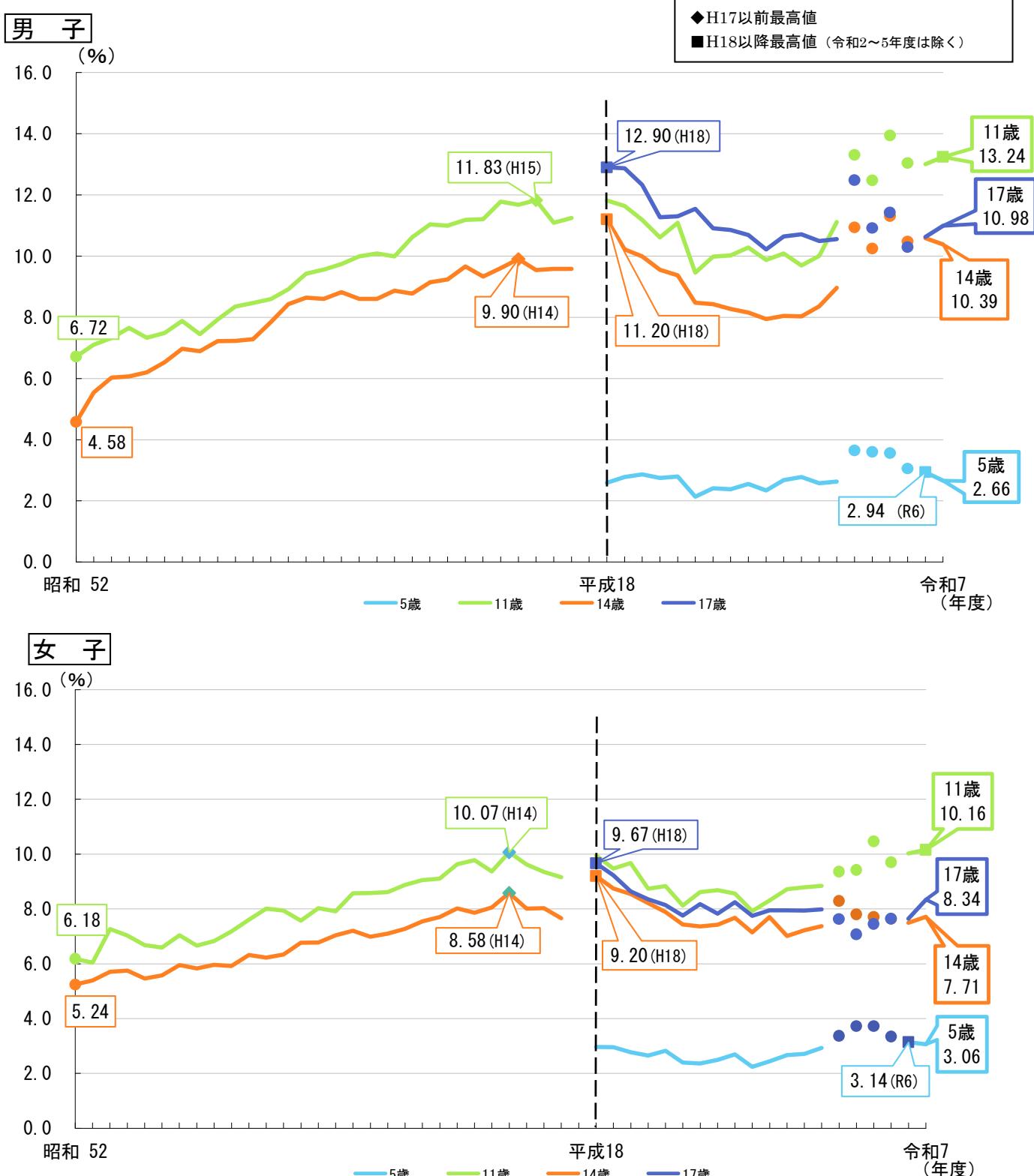


○肥満傾向児の割合の推移

性別・年齢別・身長別標準体重から以下の算出式により、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

※例えば、11歳男子の肥満傾向児の全国平均値13.24%とは、肥満度20%以上の者の割合が11歳男子児童全体の13.24%であることを意味している。

$$\text{肥満度・痩身度} = [\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}] / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$



- (注) 1. 平成18年度から肥満・痩身傾向児の算出方法を変更しているため、平成17年度までの数値と単純な比較はできない。
2. 5歳及び17歳は、平成18年度から調査を実施している。次の図においても同じ。

○瘦身傾向児の割合の推移

◆H17以前最高値
■H18以後最高値（令和2～5年を除く）

